

開国後にドキリ！ズルイ不平等条約を改正させるまでに、 何があったのか？！（国力の充実をめざす日本と国際社会）

本単元で育成する資質・能力

「探究力」「本質を志向する価値観」
「思考力・判断力・表現力」

- 1 日時 平成29年10月27日（金）
- 2 学年 第6学年20名（男13名，女7名）
- 3 単元観

本単元は学習指導要領社会6年2（1）を受けて設定した単元である。

我が国の歴史上の主な事象について、人物の働きや代表的な文化遺産を中心に遺跡や文化財、資料などを活用して調べ、歴史を学ぶ意味を考えるようにするとともに、自分たちの生活の歴史的背景、我が国の歴史や先人の働きについて理解と関心を深めるようにする。

ク 大日本帝国憲法の発布、日清・日露の戦争、条約改正、科学の発展などについて調べ、我が国の国力が充実し国際的地位が向上したことが分かること。

日本は開国以来、欧米諸国と対等な関係を築くことを目指してきた。明治の世の中になると、国や地方の政治や社会のしくみを改め、人々のくらしが西洋風へと変わり、大日本帝国憲法が制定されるなど、急速に近代化してきた。しかし、江戸幕府が欧米諸国と結んだ不平等な条約は改正されないまま、諸外国との力関係は明治の世の中になっても大きくは変わらなかった。近代国家の歩みを始めた日本にとって、不平等条約の改正は悲願であり、またその後の日本の発展に欠かせないものであったと考えられる。

本単元は、大日本帝国憲法の発布や国会開設など近代国家としてのしくみを整えたこと、日清・日露戦争での勝利、科学分野での発展などを契機に国際的な地位が向上し、条約改正の実現、諸外国との関係改善へと向かった日本の姿をとらえる内容となっている。

また、児童にとっては初めて諸外国との関係の中で日本をとらえ考える単元でもある。各国の情勢や思惑の中で、日本からみた諸外国、諸外国からみた日本と、日本を考える視点が複数化する。時代背景を示す資料や統計・グラフ・世界地図等を活用し、友だちとの話し合いを通して多角的に歴史的な事象をとらえ考えさせることができる単元である。

4 児童観

省略する

資質 能力	質問紙調査内容	結果（人数）			
		とてもそう 思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない
探究力	授業では、解決しようとする課題について「たぶんこうではないか。」「こうすればできるのではないか。」と予想しています。				
本質を志向 する価値観	振り返りをする時、「結局〇〇ってこういうことだな。」と単元の学びを全て結びつけて考えたり、総合の学習を通して、「生きることってこういうことが大切なのかな。」と考えたりしています。				
思考力 判断力 表現力	授業では、情報を比べたり（比較）、仲間分けしたり（分類）関係を見付けたり（関係付け）して何が分かるのかを考えています。				

5 指導観

指導にあたっては、以下の工夫を行う。

(1)主体的・対話的で深い学びに向けた指導の工夫

- ・教師の発問に対する一問一答ではなく、「資料からの気付き」→「疑問」→「予想」→「調べる」→「根拠をもとに交流し考えを深める」→「まとめ、次の資料」を思考パターンとし、自分たちで予想したり考えたりする力や、資料から必要な情報を読み取る力を身に付けさせる。また、自分が予想したことや調べたことを全体で交流させることで、クラス全体で学びを深めていく授業にしていく。
- ・田中正造、北里柴三郎、野口英世、津田梅子、平塚らいちょうについて自分で調べ、調べたことを交流する活動を取り入れる。調べ方や資料の見方を養ったり、得た情報を整理したりして、まとめる力やそれらを発表する力を養う。また、自分で調べた内容を発表することで、主体的・対話的で深い学びにつながる。
- ・単元末に、「明治・大正期において、我が国の国際的地位が向上した理由」について考えさせ、単元全体を捉えた思考を促す。
- ・本単元は、「日本は諸外国と対等な立場を築きたかった。⇨韓国を植民地にする。」「日清戦争や日露戦争で勝利⇨多くの国民が犠牲になり、苦しむ人もいた。」「日本の産業の発展⇨公害問題」等々、出来事に対して相反する事象を多く扱う。歴史的事象を捉えた上で、自分の考えを整理し話し合う場を多く設定することで思考力・判断力・表現力を養う。

(2)振り返り場面の指導の工夫

- ・年表と人物の願いや思いを合わせたワークシートを使用する。出来事を年表に整理したり、代表的な歴史上の人物の思いを吹き出しで表現させたりすることにより、歴史を深く理解するとともに、先人の働きについて理解と関心を深めさせる。
- ・毎時間「なぜ不平等条約が改正できたのか。」という単元を貫く課題を意識させておくことで、毎時間の終末に、「本時で学んだ出来事や人物が条約改正とどうつながっているのか。」について考えさせ、様々な出来事と歴史人物の活躍により、日本の国力が充実し、国際的地位が向上したことに気付くよう、思考をつないでいく。

(3)児童の実態に合わせた指導の工夫

- ・単元のはじめに、不平等条約が改正されたのは、国のしくみが整ったことと、日清・日露戦争が関係していることを予想させ、その予想を基に学習計画を立てることで、全員に学習意欲と学習の見通しをもたせる。
- ・「大日本帝国憲法の発布などにより近代国家のしくみが整ったことにより、不平等条約の一つである、治外法権が廃止された。そのきっかけとなったのは自由民権運動であり、その運動は西南戦争の失敗から学んだことによる。」など、結果から要因を探り、歴史を遡るように追って学習を進めることで、児童の思考をつなぎ、理解を深めさせる。
- ・児童アンケートにより、比較・分類・関係付けの考え方に低い傾向が見られたので、条約改正までの52年間に起こった様々な出来事と人物の思いを年表にまとめながら学習を進めることで、分類したり、関係付けたりさせて学習を進める。また、江戸時代と明治時代、明治時代の初めと終わり、科学の分野で活躍した野口英世と杉田玄白など、比較させて違いに気付かせる工夫をする。
- ・なるべく人物写真や様子がわかる絵、写真、映像等を用いることで、イメージをもちやすくなるよう工夫する。

6 単元で育てたい資質・能力及び本単元の目標と評価規準

(1) 目標

理解に関する目標	態度に関する目標	能力に関する目標
大日本帝国憲法の発布と国会開設，不平等条約改正，日清・日露戦争での勝利，韓国併合，近代産業の発達などについて調べ，近代化を進め，欧米諸国と対等な関係を構築したことや世界のなかの日本として近代化が進められたことを理解できる。	【資】本質を志向する価値観 大日本帝国憲法の発布と国会開設，不平等条約改正，日清・日露戦争での勝利，韓国併合，近代産業の発達などについて関心をもち，政治や社会のしくみの変化などを意欲的に調べることができる。	【資】探究力，思考力・判断力・表現力 大日本帝国憲法の発布と国会開設，不平等条約改正，日清・日露戦争での勝利，韓国併合，近代産業の発達などについての学習を通して，歴史事象を具体的に調べ，それらの時代の人々のはたらきを考える力，調べたことや考えたことを表現する力を育てる。

(2) 評価規準

社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	観察・資料活用 of 技能	社会的事象についての知識・理解
【資】「本質を志向する価値観」 ・日本の国際的地位が高まり，世界で活躍する人物が現れたことなどについて関心をもち，意欲的に調べ，考えようとしている。	【資】「探究力」 ・新政府が進めた新しい国づくり，不平等条約改正や日清・日露戦争での勝利，韓国併合，近代産業の発達などについて問題意識をもって追究している。 【資】「思考力・判断力・表現力」 ・追究したことを基に，時代の変化について考え，調べたことや考えたことを適切に表現している。	・絵図や年表，統計，地図などの基礎的資料を効果的に活用して具体的に調べ，調べたことや考えたことを目的に応じた方法で分かりやすくまとめている。	・新政府が進めた新しい国づくり，不平等条約改正，日清・日露戦争での勝利，韓国併合により，我が国の国力が充実し国際的地位が向上したことを理解している。

資質能力	評価基準		
	I	C	E
探究力	新政府が進めた新しい国づくりについて，疑問をもち，追究している。	新政府が進めた新しい国づくり，不平等条約改正や日清・日露戦争での勝利，韓国併合，近代産業の発達などについて関連付けて追究しようとしている。	不平等条約改正や日清・日露戦争での勝利，韓国併合，近代産業の発達など，新政府が進めた新しい国づくりなどについて学習問題や予想，学習計画をもとに総合的な視点から追究しようとしている。
思考力 判断力 表現力	新政府が進めた新しい国づくりについて調べ，人物の願いや働きを考え表現している。	追究したことを基に，時代の変化について考え，調べたことや考えたことを関連付けて表現している。	不平等条約改正や日清・日露戦争での勝利，韓国併合，近代産業の発達など，新政府が進めた新しい国づくりなどについて調べたことを比較したり関連付けたり総合したりして，人物の願いや働きを考え総合的な視点から表現している。
本質を志向する価値観	日本の国際的地位が高まり，それに関わる人物の働きなどに関心をもっている。	日本の国際的地位が高まり，世界で活躍する人物が現れたことなどについて関心をもち，意欲的に調べ，考えている。	不平等条約改正や日清・日露戦争での勝利，韓国併合，近代産業の発達など，新政府が進めた新しい国づくりなどについて，それに関わる人物の働きなどに関心をもち，意欲的に調べ，まとめようとしている。

7 単元計画 (9時間)

次	学習活動	児童の思考の流れ	観点				評価
			関	思	技	知	◇評価規準 ★資質・能力(評価方法)
第一次 (一時間)	<p>課題の設定 本時の目標：なぜ、不平等条約が改正できたのか予想し、学習計画をたてることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ペリーが来航した時、明治初めの日本はどんな状態だったのか振り返る。 明治になってもずっと残ったものについて考える。 ノルマントン号事件について知る。 <p>学習課題 日本は不平等条約を改正するためにどんなことをしたのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 不平等条約を改正するためにしたことを予想する。 	<ul style="list-style-type: none"> ペリーが来て開国した。 いろんな条約を結んだ。 文明開化をした。 不平等条約だ。 条約改正に随分時間がかかっている。 <p>(教 P.119 の表を参考にして予想させる。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ノルマントン号は許せない事件だ。本当に不平等だ。 近代国家としてのしくみを整えたことで、治外法権が廃止されたと思う。 日清・日露の戦争のあとに関税自主権を回復したと書いてあるから、戦争が関係しているのかな。 陸奥宗光や小村寿太郎が関係しているのかな。調べてみたいな。 	◎	○			<p>◇日本は、不平等条約を改正するために、どんなことをしたのか教科書を参考に予想し学習計画をたてることができている。(行動観察・ノート)</p> <p>★日本がどのように不平等条約を改正していったのか問題意識をもって追究している。(行動観察・ノート)【探究力】</p>
	<p>情報の収集 本時の目標：近代国家のしくみを整えるために、大日本帝国憲法を發布し、そのことが条約改正につながったことに気付くことができる。</p> <p>大日本帝国憲法の発布</p> <ul style="list-style-type: none"> 大日本帝国憲法のしくみや概要を知る。 伊藤らが中心になって憲法をつくったことを知る。 当時の選挙人の割合を現在と対比し、国会がまだ一部の国民の代表であったことを理解する。 江戸時代とは大きく違う国のしくみが整った大きな一歩であったことを理解する。 大日本帝国憲法の発布が条約改正にどう結び付いていくのかを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 伊藤博文がドイツで学んだことをもとに憲法をつくったんだ。 アジアではじめての憲法がつくられた。 当時はお金持ちの人にしか投票権がなかった。国民の1%だ。 江戸時代までは、将軍が政治を行っていたし、大名が命令を出していた。国会ができたことで、国民の意見が聞き入れられるようになった。 法律が整ったから、外国も治外法権の廃止を認めた。 	◎				<p>★◇大日本帝国憲法の発布が条約改正にどう結び付いていくのかを考えている。(行動観察・ノート)【思考力・判断力・表現力】</p>
	<p>情報の収集 本時の目標 自由民権運動が各地に広がったことで、国会開設や憲法制定につながったことに気付くことができる。</p>						

	<p>自由民権運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演説会の絵を読み解き、自由民権運動の主張を理解する。 ・自由民権運動が起きたわけを西南戦争とつなげて考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・憲法ができる前に、自由民権運動という運動があったんだ。 ・この運動があったから政党ができた、国会ができたんだ。 ・武力ではなく、言論でうたえるように変わった。 ・武力で不満を訴えた西南戦争の失敗に学んだからだ。 	◎		<p>★◇憲法や国会開設のきっかけとなった板垣退助のはたらきや政府の対応などについて、考えている。(行動観察・ノート)【探究力】</p>
<p>情報の収集 本時の目標：日清・日露戦争がどのように条約改正に結び付いていくのかを考えることができる。</p>					
	<p>日清・日露戦争</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2つの戦争について、風刺画から特徴を読み取る。 ・2つの戦争での勝利と韓国併合の後に条約が改正されていることに気づき、戦争での勝利と条約改正の関係について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本と中国が朝鮮を奪い合っている。 ・日清戦争の賠償金で軍備の増強と八幡製鉄所の建設をした。 ・日露戦争でも勝利して、世界に日本の力を示した。 ・戦争で日本の力を示したことが、条約改正につながったのではないか。 	◎		<p>★◇日清・日露戦争がどのように条約改正に結び付いていくのかを考えている。(行動観察・ノート)【探究力】</p>
<p>情報の収集 本時の目標：日本の植民地政策について知る。</p>					
	<p>朝鮮を植民地にする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一枚の写真の謎を読み解き、日韓双方の人物を介して韓国併合への関心を高める。 ・併合後の朝鮮で起きたことを調べ、明治期の日本の領土拡張を地図作業から捉える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝鮮への支配を強めた。 ・伊藤博文の暗殺をきっかけに韓国を併合した。 ・西洋諸国と同じように領土を広げていった。 ・日本語を教えた。 ・朝鮮の歴史や朝鮮語の勉強を禁止した。 ・土地を失い日本人地主の小作人になった。 	◎		<p>◇日本の植民地政策について調べている。(行動観察・ノート)</p>
<p>情報の収集 本時の目標：世界で活躍する北里柴三郎と野口英世や、環境問題・国民第一主義・男女平等など、世界的な思考をする田中正造や津田梅子、平塚らいちょうらの活躍や考え方について調べることができる。</p>					
	<p>近代産業の発展と公害問題 科学や文化の発展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田中正造、北里柴三郎、野口英世、津田梅子、平塚らいちょうについて調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・田中正造は、国は国民のことを考えるべきだと訴えた。 ・北里柴三郎や野口英世は、世界で活躍した科学者だ。 ・津田梅子や平塚らいちょうは、男女平等を訴えた。 	◎		<p>◇この時代に活躍した日本人や新しい考え方を訴えた日本人について調べることができる。(行動観察・ノート)</p>
第三次 (二時間)	<p>整理・分析 本時の目標：調べた人物について交流し、世界で活躍した日本人や新しい考え方が生まれ、国が変わったことに気付くことができる。</p>				
	<ul style="list-style-type: none"> ・調べた人物について交流し、日本の国や国民が新しく変わっていったことを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界で活躍する科学者が現れた。 ・国よりも国民のことを考えたり、環境問題について訴えたりする人が現れた。 ・江戸時代にはなかった考え方が生まれたことがわかる。 	◎		<p>◇調べた人物について交流し、世界で活躍した日本人や新しい考え方が生まれ、国が変わったことを理解することができる。(行動観察・ノート)</p>
	<p>まとめ・創造 本時の目標：憲法の発布、日清・日露戦争、条約改正、世界で活躍する日本人など、世界で認められるほど国力をつけたことについて自分の考えを表現することができる。</p>				
	<p>国力が充実し、国際的地位が向上した</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明治時代に日本が行った 	<ul style="list-style-type: none"> ・大日本帝国憲法の発布によって、国のしくみが整った。 ・日清・日露戦争で勝った。 	◎		<p>★◇欧米諸国と対等な関係を築いたことについて自分の考えを表現す</p>

	歴史的事象や人物の活躍を振り返り，国力が充実し，国際的地位が向上したことを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・不平等条約が改正できた。 ・世界的に認められた人もいた。 ・国力がついて，世界で認められるようになった。 				<p>ることができている。 【思考力・判断力・表現力】（行動観察・ノート）</p> <p>★日本の国際的地位が高まった理由について考えている。【本質を志向する価値観】</p>
第四次 (一時間)	<p>表現 本時の目標：明治・大正期において，我が国の国際的地位が向上したわけを考え，図や言葉で表現することができる。</p>					
	<p>パフォーマンス課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価テストに取り組む。 		◎		<p>★明治・大正期において，我が国の国際的地位が向上したわけを考え，図や言葉で表現している。【思考力・判断力・表現力】</p> <p>★単元で追究したことを基に，時代の変化について考え，調べたことや考えたことを適切に表現している。 【思考力・判断力・表現力】</p>	

8 パフォーマンス課題

各時間の終末に、それぞれの出来事を年表にしてまとめたり、人物の吹き出しに思いや考えを書いたりする。単元末に完成した年表を頼りに、どうして不平等条約を改正することができたのか書く。「ぼくが〇〇だったら、…」 「わたしは…思う。」と、自分の考えが書けるとなお良い。

キーワード 自由民権運動, 大日本帝国憲法の発布, 日清・日露戦争, 韓国併合
近代産業の発展, 不平等条約の改正

9 パフォーマンスの評価基準 (ICE ルーブリック)

	I	C	E
評価基準	キーワードを使っているが、文章が理由の説明になっていない。	キーワードを使って、日本の国力が高まり、条約改正に結びついたことを説明できている。	キーワードを使って、日本の国力が高まり、条約改正に結びついたことを説明でき、歴史上の人物や自分の立場から考えを書くことができている。
児童用評価基準	キーワードを使って書いている。	キーワードを使い、日本の国力が強くなったことが、条約改正につながったことを説明することができる。 ※キーワードは必要なものを選んでよい。	キーワードを使い、日本の国力が強くなったことが、条約改正につながったことを説明することができる。さらに、歴史上の人物や自分の立場からこの大きな変化について考えを書くことができる。
反応例	明治時代の日本では、板垣退助が自由民権運動を起こし、伊藤博文が大日本帝国憲法を作り、不平等条約が改正され、日清・日露戦争に勝ち、野口英世のように世界で活躍する科学者が現れました。国の力が強くなりました。	開国と同時に結ばされた不平等な条約を改正するために、明治の人々は、大日本帝国憲法を作ったり、日清・日露戦争で勝利したり、韓国併合などによって、外国に日本の力を示すことができ、そのことが不平等な条約を改正することにつながったことが分かりました。	開国と同時に結ばされた不平等な条約を改正するために、明治の人々は、大日本帝国憲法を作ったり、日清・日露戦争で勝利したり、韓国併合などによって、外国に日本の力を示したりすることができ、そのことが不平等な条約を改正することにつながったことが分かりました。 ぼくは、日本が不平等条約を改正できたことはいけれど、韓国を植民地にしたことはどうかと思います。日清・日露戦争もせずに、条約を改正する方法はなかったのかなと思いました。

10 本時の展開 (2/10 時間)

(1) 本時の目標

- 近代国家のしくみを整えるために、大日本帝国憲法を発布し、そのことが条約改正につながったことに気付

くことができる。

(2) 準備物

- ・挿絵 3 枚 (大日本帝国憲法の発布式, 国会のようす, 初めての選挙のようす・伊藤博文)
- ・資料 (大日本帝国憲法の条文要旨, 江戸後期と明治前期の犯罪と罪について, 等々)

(3) 本時の展開

学習活動	主な発問と児童の反応予想	指導上の留意点 ☆児童への支援	評価基準 (評価方法)
予想 7分	<p>1 近代国家のしくみを整えるために, 何をしたのか予想させ, 教科書や資料集で調べさせる。</p> <p>T: 前の時間に, 治外法権を撤廃させるために, 近代国家としてのしくみを整えたと予想したね。どんなしくみを整えたのだろう。</p> <p>C: 富国強兵を進めた。</p> <p>C: 天皇中心のしくみを強化した。</p> <p>C: むやみに人に切りかかっはいけないルールを作った。</p> <p>C: 裁判や法律のやり方を見直した。</p> <p>C: 国のしくみだから, 政治に力を入れた。</p> <p>C: 今みたいに国会を開いて話し合った。</p> <p>T: 予想があたっているか, 調べてみよう。</p> <p>C: 大日本帝国憲法を作った。</p> <p>C: 伊藤博文がドイツに行きって学んだ。</p> <p>C: アジアで初めて憲法をもとに政治を行う国になった。</p>	<p>・条約改正のために, 近代国家としての国のしくみを整えたと予想した, 前時の学習を想起させ, 本時の導入とする。</p>	
<p>課題 本当に, 大日本帝国憲法の発布が, 条約改正につながったと言えるのだろうか。</p>			
気付き 7分	<p>2 大日本帝国憲法はどのような憲法だったのか考える。</p> <p>T: (図「大日本帝国憲法のもとでの国のしくみ」を提示) どこが良くなったのでしょうか。</p> <p>C: この図だけだと分かりにくいから, これより前の国のしくみが分かるものと比べたい。</p> <p>T: (憲法制定前の図「新明治政府のしくみ」を提示)</p> <p>C: 明治の初めは, 長州や薩摩, 一部の者だけが役職についている。</p> <p>C: 新しい国のしくみは, たくさんの方が政治に関わっている。</p> <p>C: 国民の意見が聞き入れられるようになった。</p>	<p>・明治初年の憲法発布前の国のしくみ, 憲法発布によって定められた国のしくみを比較させて, 違いに気付かせる。</p>	
思考 20分	<p>3 大津事件を題材に, 外国からの影響を考えて重い罪にするか, 法律どおりの罪にするか考え, 話し合う。</p> <p>T: この頃の 1891 年に, 大津事件という大事件がありました。君たちならどうするか。</p> <p>C: 生麦事件の時は, 薩英戦争にまでもつれた。政府としては, ロシアが納得するような重い罪にする。</p> <p>C: 裁判官も, 政府の考えを受けて, 重い罪にする。ロシアと戦争したくない。</p> <p>C: ロシア人からしたら, 皇太子にけがをさせた人を</p>	<p>・生麦事件から薩英戦争につながった既習事項を想起させ, 憲法発布後に起きた大津事件を題材にして罪について考えさせることで, 法律で裁かれるようになったことに気付かせる。</p>	

<p>許してはおけない。重い罪にして欲しい。 C: 強い国が相手だから、法律よりも重い罪にして許してもらおう。</p> <p>課題 本当に、大日本帝国憲法の発布が、条約改正につながったと言えるのだろうか。</p> <p>予想 近代国家のしくみ ・富国強兵 ・天皇中心のしくみ強化 ・ルール 切り付け× ・裁判や法律のやり方見直し ・政治 ・国会で話し合い</p> <p>調べ ・伊藤博文がドイツで学ぶ ・大日本帝国憲法を作った ・アジアで初めての憲法</p>	<p>強い国と弱い国で罪を変えていない。 から、法律どおりの罪にするべきだ。</p> <p>近代国家のしくみの罪になったのです。このことは何だろう。 きちんと裁判で決まるように はなく、たくさんの人の意見が 多くなった。 うやんと決まり、</p> <p>んの中の意見が反映される。 C: それで「近代国家としてのしくみが整う」ということか。</p> <p>・伊藤博文がドイツで学ぶ ・大日本帝国憲法を作った ・アジアで初めての憲法</p> <p>C: だから治外法権が廃止になったのか。</p>	<p>・政府としての立場、裁判官としての立場、外国人としての立場と、様々な立場から多角的に考えさせ</p> <p>まとめ 国のしくみが整い、憲法で決める国になったから、条約が改正できた。</p> <p>・治外法権の廃止に活躍した陸奥宗光について知らせる。</p> <p>・たくさんの人が関わっている。 ・国民の意見あり。 ・裁判所がある。</p>	<p>思考力・判断力・表現力 社会的な思考・判断・表現</p> <p>A: 近代国家のしくみを整えるために、大日本帝国憲法を発布し、条約改正につながったことと、その理由が書けている。(ノート)</p> <p>B: 近代国家のしくみを整えるために、大日本帝国憲法を発布し、条約改正につながったことが書けている。(ノート)</p>
<p>まとめ 7分</p>	<p>4 憲法を考えた伊藤博文の思いや願いについて考える。 T: 憲法の案を考えた伊藤博文の思いを予想し、吹き出しに書きましょう。 C: 少しでも早く憲法を制定して、国のしくみを整えたかった。 C: 近代国家のしくみが整ったから、治外法権が廃止になった。 T: まとめを書きましょう。</p> <p>まとめ</p>	<p>・大日本帝国憲法の制定に関わった伊藤博文の思いや願いを吹き出しに書かせ、まとめにつなげる。</p>	
<p>振り返り 4分</p>	<p>5 本時の振り返りをさせる。 T: 国のしくみが整い、憲法で決める国になったから、条約が改正できた。</p>	<p>・本時の学習を振り返らせ</p>	

今日は大日本帝国憲法の発布が条約改正にどうつながったのか勉強した。憲法発布で、国のしくみが整い、憲法で決める国になったことで、治外法権が廃止された。関税自主権はどうやって改正されるのか知りたい。

(4) 板書

近代国家のしくみを！
条約改正のためには！
これで認めてくれるだろうか!!



生麦事件の挿絵



大津事件の挿絵